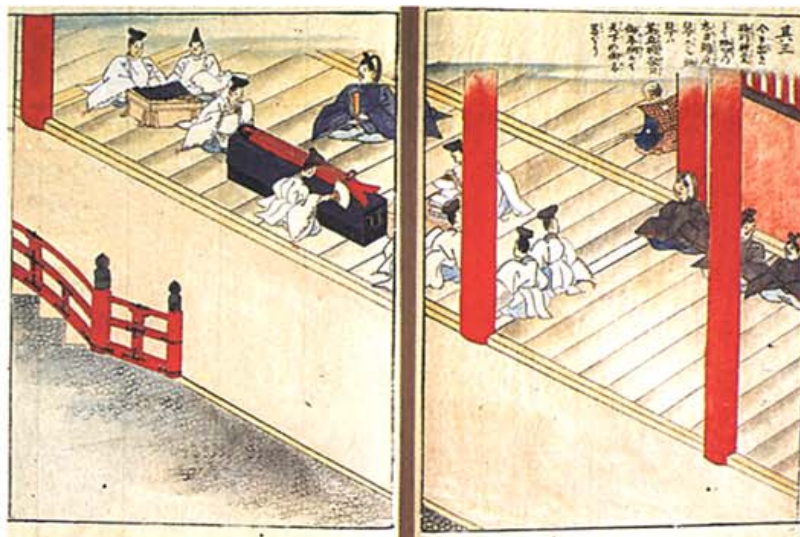
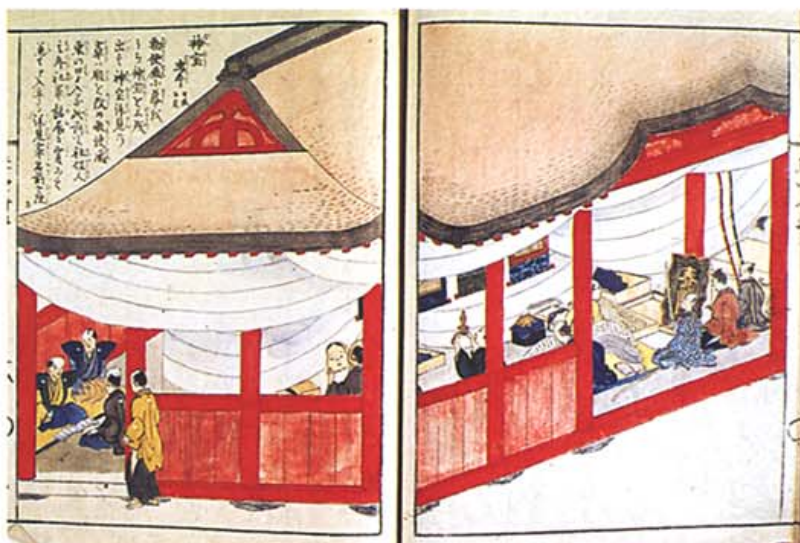




## 熱田宮神宝の曝涼

江戸時代の熱田の宮（熱田神宮）では、神事として7月7日の七夕の日に「神宝の虫干し」が行われていた。このお祭りは、まず神前において神祭りが行われ、その後、宝蔵より宝物が唐櫃に納められたまま神前に運び出され、唐櫃から神宝が取り出され風入れの儀式が執り行われるものであった（写真・上）。この儀式を間近に拝見した天野信景や朝日文左衛門はその様子を、『塩尻』や『鸚鵡籠中記』に詳しく書き残している。特別参拝が許されない多くの参拝者達は、この有様を社殿の外で遠回しで見学する以外方法はなかった。しかし、このような神事も江戸後期の頃になるとあらかじめ宝物の拝観を希望して申し込んでおけば、8月下旬の期日に勅使殿に宝物が並べられて希望者がそれを手にとって拝観ができることとなった（写真・下）。



熱田祭奠年中行事図会 巻九

名古屋市蓬左文庫蔵

このようになった時期は、はっきりしないが1830年頃（天保年間）にはこのような制度が確立していた。ここに神事としての「神宝の風入れ」と、宝物の修理と拝観をかねた「神宝の虫干し」が行われた。これは今の時代に直せば博物館の役割を担っているものといえよう。

## 目次

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| ●愛知県博物館協会平成13年度総会の報告について ..... | 2 |
| ●「いこまい！！愛知のミュージアム展」について .....  | 4 |
| ●新規加盟館の紹介 .....                | 6 |

## 愛知県博物館協会 平成13年度総会の報告

愛知県博物館協会の平成13年度総会が5月8日(火)、名古屋市瑞穂区の「名古屋市博物館」で、参加59館91名の出席のもと盛大に開催されました。概要は以下の通りです。

### 1. 開 会

#### 2. 会長あいさつ

名古屋市博物館 館長 竹内 正氏  
来賓あいさつ  
愛知県教育委員会生涯学習課  
課長 金井正樹氏

#### 3. 新加盟館紹介あいさつ

- ・ サイクル・ギャラリー・ヤガミ
- ・ 鍛造技術の館

#### 4. 議 事

議長 竹内 正氏(会長)

### ①平成12年度事業報告及び決算報告について

#### 1 研修会の実施

##### (1) 愛知県博物館等職員研修会

期 日 平成12年9月7・8日  
会 場 豊田市美術館講堂  
テーマ 「学校と博物館」  
～2002年総合学習の導入にむけて～  
参加者 62名

##### (2) 部門別研修会

###### ア 自然科学部門

期 日 平成13年2月17日  
会 場 名古屋市科学館  
テーマ 「博物館職員等パソコン教室」  
参加者 20名

###### イ 歴史民俗部門

期 日 平成13年3月1日  
会 場 博物館明治村  
テーマ 「博物館資料の修復・保存・活用」  
参加者 34名

###### ウ 美術部門

期 日 平成13年2月16日  
会 場 愛知県美術館  
テーマ 「ドキュメンテーションの今」  
参加者 34名

### 2 東海地区博物館連絡協議会

平成12年度総会への参加

期 日 平成12年7月11・12日  
会 場 横浜市 横浜美術館  
参加者 92名(内県内13名)

### 3 第25回東海三県博物館協会

交流研修会への参加

期 日 平成12年10月31日・11月1日  
会 場 長良川スポーツプラザ  
テーマ 「21世紀を迎える博物館」  
参加者 58名(内県内16名)

### 4 表彰の実施

功労賞 安達 厚三氏  
名古屋市博物館前副館長  
功労賞 内藤 晴枝氏  
名古屋市科学館業務士

### 5 印刷物の作成・配布

- (1) 協会報「愛知の博物館」 2回発行
- (2) 「おでかけガイド」 2回発行

### 6 会議等

- (1) 総 会 1回開催
- (2) 理 事 会 1回開催
- (3) 「いこまい!!愛知のミュージアム」  
説明会・企画委員会開催
- (4) 実行委員会 9回開催

### 7 平成12年度加盟等

入 会 美術の森  
名古屋ボストン美術館  
名古屋港水族館  
以上3館

### 8 平成12年度決算報告

資料に基づき事務局より説明、異議なく承認されました。

### ②平成12年度事業計画(案)及び

予算(案)について

#### 1 事 業

##### (1) 愛知県博物館等職員研修会

愛知県教育委員会と共催で博物館関係施設等に勤務する職員を対象とする。

期 日 平成13年11月29・30日  
会 場 稲沢市  
企画担当 稲沢市荻須記念美術館  
テーマ 「連携」(仮称)

- (2) 部門別研修会
- |          |             |            |                        |
|----------|-------------|------------|------------------------|
| ア 自然科学部門 | 平成14年2月予定   | 編集担当       | 熱田神宮宝物館<br>でんきの科学館     |
| 企画担当     | 鳳来寺山自然科学博物館 | ・「おでかけガイド」 | 2 回発行                  |
| イ 歴史民俗部門 | 平成14年2月予定   | 編集担当       | 岡崎市美術博物館<br>弥富町歴史民俗資料館 |
| 企画担当     | 武豊町歴史民俗資料館  | ・「加盟館園職員録」 |                        |
| ウ 美術部門   | 平成14年2月予定   | 編集担当       | 愛知県陶磁資料館               |
| 企画担当     | 豊橋市美術博物館    |            |                        |
- (3) 東海地区博物館連絡協議会  
平成13年度総会への参加  
期 日 平成13年6月7・8日  
会 場 高山市民文化会館
- (4) 第26回東海三県博物館協会  
交流研修会への参加  
期 日 平成13年8月2・3日  
会 場 伊勢市 伊勢シティホテル
- (5) 「いこまい！！愛知のミュージアム展」  
の開催  
期 日 平成13年7月14日～9月2日  
会 場 名古屋市博物館
- (6) 印刷物の編集・発行  
・協会報「愛知の博物館」 2 回発行
- 7) 愛知県博物館協会  
“子ども博物館”研究会  
企画担当 一宮市博物館
- 2 会 議  
(1) 総 会 (平成13年5月8日)  
(2) 理 事 会 (平成13年5月8日)  
(3) 実行委員会 (随 時 )
- 3 平成13年度加盟等  
新加盟 サイクル・ギャラリー・ヤガミ  
鍛造技術の館 以上 2 館
- 4 平成13年度予算(案)  
事業計画案に基づく予算案を事務局  
より提示、承認された。

※総会終了後恒例の講演会を実施、今年度は名古屋商工会議所文化委員長須田寛氏をお迎えして「愛知万博開催に向けて～愛知県の博物館にもとめること」というテーマでご講演をいただきました。

本年、役員及び実行委員が一部交替致しましたので報告致します。今後共、会員各位のご協力の程よろしくお願い致します。

#### 愛知県博物館協会役員並実行委員（平成12・13年度）

- |      |                                          |                    |               |
|------|------------------------------------------|--------------------|---------------|
| 会 長  | 竹内 正（名古屋市博物館）                            | 副会長                | 宮地清美（でんきの科学館） |
| 理 事  | 篠田和俊（愛知県陶磁資料館）                           | ・二橋一彦（熱田神宮宝物館）     |               |
|      | 後藤郁夫（稲沢市荻須記念美術館）                         | ・芳賀 徹（岡崎市美術博物館）    |               |
|      | 石川 昇（武豊町歴史民俗資料館）                         | ・徳川義宣（徳川美術館）       |               |
|      | 畔柳寿文（豊田市郷土資料館）                           | ・山本厚夫（トヨタ博物館）      |               |
|      | 藤井 隆（豊橋市美術博物館）                           | ・樋口敬二（名古屋市科学館）     |               |
|      | 飯田喜四郎（博物館明治村）                            | ・横山良哲（鳳来寺山自然科学博物館） |               |
|      | 稲垣 厚（弥富町歴史民俗資料館）                         |                    |               |
| 監 事  | 長谷川三郎（愛知県美術館）・柳澤幸輝（昭和美術館）                |                    |               |
| 実行委員 | 田中青樹（会長館）・真野博美（副会長館）                     |                    |               |
|      | 佐藤一信（理事館）・千秋季頼（理事館）・日野幸治（理事館）・浦野加穂子（理事館） |                    |               |
|      | 奥川弘成（理事館）・小池富雄（理事館）・松井孝宗（理事館）・鈴木忠道（理事館）  |                    |               |
|      | 高橋洋充（理事館）・佐伯平二（理事館）・中野裕子（理事館）・加藤貞亨（理事館）  |                    |               |
|      | 伊藤隆彦（理事館）・深山孝彰（監事館）・加藤香菜子（監事館）           |                    |               |
| 事務局  | 堤 時啓・藤田博康・大坪真人・佐藤行雄（名古屋市博物館）             |                    |               |



## 「いこまい!! 愛知のミュージアム展」について

名古屋市博物館では、平成13年7月14日から9月2日まで特別展「いこまい!! 愛知のミュージアム展」を開催しています。この展示は愛知県博物館協会に加盟する博物館（園）が、それぞれの特徴を表す資料を持ち寄って県内の博物館を紹介するものであることとはすでにご存知のとおりです。

名古屋市博物館と朝日新聞社、文化庁に加えて愛知県博物館協会も主催者に入っています。愛知県博物館協会と名古屋市博物館が共同で企画委員会を組織し、展示内容を検討してきました。協会加盟館に対して展示参加の意向を問い合わせ、最初の説明会を開いたのは平成12年10月3日。平成12年12月22日には企画委員会を開き、展示、事業、図録の三つのワーキンググループをつくって準備を進めることにしました。

この展示に参加したのは関連事業のみの参加も含めて75館です。出品資料に応じて全体を六つのテーマに分けて、館ごとに展示しました。

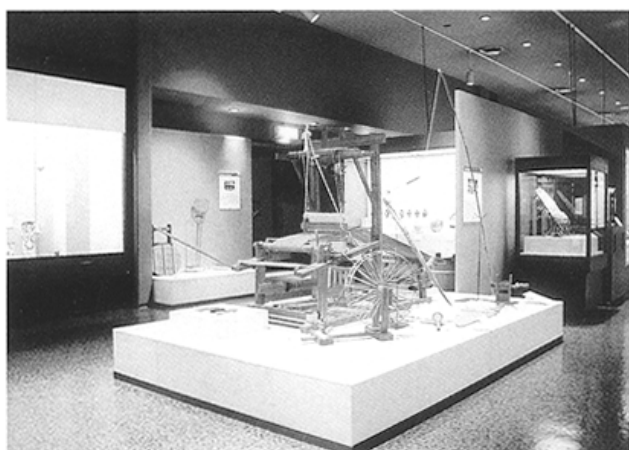
会場入り口で迎えてくれるのは初代トヨタ・カラー（トヨタ博物館蔵）。サニーとともに大衆車時代を切り開いた車です。展示室に入ると最初のテーマは「歴史」。「昭和日常博物館」を標榜する師勝町歴史民俗資料館の昭和30年代の生活を表す資料の数々が所狭しと並べられています。

「歴史」のテーマは新しい時代から順次時代をさかのぼる形になっています。豊川市桜ヶ丘ミュージアムなどの戦中の資料を経て明治に入ると、博物館明治村の展示資料は西郷従道邸の家具などにより「鹿鳴館時代」を紹介しています。江戸時代では「起」と「二川」二つの宿場に関連した資料（尾西市歴史民俗資料館と豊橋市二川宿本陣資料館）などがあります。

豊田大塚古墳出土資料（豊田市郷土資料館蔵）は全点重要文化財の指定品。最も古いのは縄文時代の伊川津遺跡の出土品（渥美町郷土資料館）です。

「歴史」のテーマにはもっとも多い24館が出品しています。通史以外にも、東海銀行貨幣資料館や熱田神宮宝物館などの部門史の展示もあります。

次のテーマは「人物」。豊臣秀吉の「色々威二枚胸具足」（名古屋市秀吉清正記念館蔵）や渡辺崋山自筆遺書（重要文化財・田原町博物館蔵）などを展示しています。文学好きの人には、童話作



会場風景

家新美南吉の自筆原稿（新美南吉記念館蔵）や探偵小説作家小酒井不木が残した手紙（蟹江町歴史民俗資料館蔵）などもあります。

「暮らしと芸能」では、バリやインドなどの色とりどりの仮面が並ぶのは野外民族博物館リトルワールド。仮面劇や宗教儀式に使われたもの。三河万歳（安城市歴史博物館）と説教源氏節（甚目寺町歴史民俗資料館）では、資料の展示だけでなく名古屋市博物館講堂において実演会（8月26日）も行います。また、長さ3mほどの打瀬船模型や漁労用具（重要有形民俗文化財・知多市歴史民俗博物館）や柚・木地師の道具（設楽町奥三河郷土館）などで、海や山の暮らしを紹介します。

第1室の最後は「産業」です。瀬戸市歴史民俗資料館や常滑市歴史民俗資料館など古くからの焼き物の産地にある資料館から製造法などを示す資料が展示されます。また世界のタイル博物館 窯のある広場・資料館からは世界各地のタイルも展示されます。そのほかにも、機織り（一宮市博物館）や醸造（博物館「酢の里」）、金魚（弥富町歴史民俗資料館）、七宝焼き（七宝町郷土資料館）など、当地方の多彩な産業の一端に触れてください。

第2室は「美術」に始まります。名古屋城本丸御殿の襖絵（名古屋城蔵）や名古屋市博物館の「秋草鶉図屏風」のように重要文化財指定の古い美術品もあります。

今回注目したいのは、従来名古屋市博物館ではあまり扱ってこなかった洋画や近代日本画などです。県内美術館自慢のコレクションのダイジェスト版がご覧いただけます。岡崎市美術館の藤井達吉、愛知県美術館の北川民次、名古屋市美術館のルフィーノ・タマヨ、稲沢市荻須記念美術館の荻須高德、杉本美術館の杉本健吉など……………。

大い美術館のガレのガラス工芸品、豊田市美術館のマッキントッシュの椅子などもおもしろいコーナーになっています。

最後のテーマ「科学と自然」で真っ先に目につくのは、アケボノゾウの骨格標本（複製）でしょう。高さ2メートル、牙を含めると長さ5メートルにもなります。およそ250万年から100万年前、日本にだけ生息していた象です。豊橋市自然史博物館が所蔵しているもので、同館からはディメトロドンなど恐竜の骨格標本や昆虫標本も展示されています。

鳳来寺山自然科学博物館からは鉱物やキノコの標本を展示し、設楽の自然を紹介しています。昆虫などに寄生する「冬虫夏草（とうちゅうかそう）」というキノコ、冬の間は虫の姿をしているのに、夏になると草になると考えられていたとか。不思議な姿がご覧になれます。

この「いこまい！！愛知のミュージアム展」では展示以外の関連事業にも力を入れました。展示と同様に、事業もまた各館の特徴を表すものと考えたからです。各館の協力により、別表のような盛りだくさんのイベントを実施しています。

なお、今回の展示にあわせて県内博物館のガイドブック『愛知のミュージアム』を作成しました。愛知県博物館協会と名古屋市博物館の編集で発行

は株式会社ミュゼ。愛知県博物館協会加盟の125館すべてを取り上げ、写真はもちろんのこと、交通案内の地図や見学所用時間の目安まで入っています。ミュージアムグッズやおすすめレストランの案内もあり、もちろんオールカラーです。加盟館以外についても場所や連絡先などの情報を載せています。会場内や一般書店でも扱いますが、株式会社ミュゼ(03-5488-7781)では、各博物館での販売も希望しています。お問い合わせください。

愛知県博物館協会の前身となる博物館連絡協議会が発足したのは昭和39年。当時の加盟館は11館でしたが、現在の加盟館は125館にまでなっています。昭和44年、45年に協会加盟博物館を紹介する展示を行ったことはありますが、今回のような規模で、実物資料を大量に展示したのは初めてのことでないでしょうか。準備期間が短かったこともあり、企画委員会の当初の意図が十分に生かされたかどうか、心許ない部分があります。しかし、協会加盟館が力を合わせて県内博物館の現在を紹介するという目的は達せられたと思われます。この展示をきっかけにして、加盟館の交流が深まり、今後の博物館のあり方を展望するきっかけになれば幸いです。

(名古屋市博物館学芸員 田中青樹)

## ■今後の関連事業一覧

| 日                    | 時                                 | 館 園 名                       | 内 容                                                  | 会 場               |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------------------|------------------------------------------------------|-------------------|
| 7月31日(火)<br>～8月5日(日) | 午前11時<br>～午後3時(随時)                | 参加各館園                       | 展示作品のガイド                                             | 1F特別展示室・<br>部門展示室 |
| 8月4日(土)              | 1回目午前11時<br>2回目午後1時30分<br>3回目午後3時 | 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館<br>(愛知県教育委員会) | 体験講座「レッツ・トライ・弥生人」<br>(弥生人になったつもりで、火おこしや石器<br>の使用に挑戦) | B1ランブウェイ          |
| 8月5日(日)              | 午後2時                              | 新美南吉記念館                     | 映画とお話しの会「ごんぎつね」<br>講師:小野敬子氏                          | B1講堂              |
| 8月10日(金)             | 午後2時                              | あいち健康の森<br>健康科学総合センター       | なるほど!健康講座「腰痛のはなし」                                    | 1F展示説明室           |
| 8月12日(日)             | 午後2時                              | 衣の民俗館                       | 和装美の伝承 絵画にみる「結び」一帯一<br>解説と実演<br>講師:衣の民俗館衣生活史研究会      | 1F展示説明室           |
| 8月18日(土)             | 午後2時                              | あいち健康の森<br>健康科学総合センター       | なぜなぜ?からだのはなし<br>「ドッジボールから学ぶからだのしくみ」                  | 1F展示説明室           |
| 8月26日(日)             | 午後2時                              | 基目寺町歴史民俗資料館<br>安城市歴史博物館     | 「説教源氏節」・「三河万歳」上演                                     | B1講堂              |
| 8月29日(水)             | 1回目午後2時<br>2回目午後3時                | でんきの科学館                     | サイエンスショー<br>「超伝導の不思議に迫ってみよう!!」                       | 1F展示説明室           |
| 8月30日(木)<br>～9月2日(日) | 午前11時<br>～午後3時                    | 知多市歴史民俗博物館                  | はた織り、綿繰り、糸つむぎの体験                                     | 1F展示説明室           |

## 新規加盟館の紹介

### 鍛造技術の館 (東海市荒尾町ワノ割1番地)



この館はものづくりの心と技を後世に伝承しようと、2000年に設立しました。自動車のカットモデルで鍛造品が車のどこに使われているかを紹介。

『自動車用鍛造品』のコーナーでは鍛造技術の歴史を実物や映像で解説。

『大野鍛冶』のコーナーでは知多半島・大野鍛冶の匠と技を農具や鍛冶の道具などの実物展示等により紹介しています。

#### ご利用案内

〈開館時間〉午前9時～午後5時

〈休館日〉毎週日曜日及び年末年始

ゴールデンウィーク、夏期連休

〈観覧申込〉当館は予約制です。

TEL (052) 604-1111

〈入館料〉無料

#### アクセス



## サイクル・ギャラリー・ヤガミ 自転車資料館 (名古屋市昭和区桜山町1-15)

180年の歴史ある自転車に就いて主として欧米の初期からの、由緒あるアンティーク自転車のコレクションを紹介。同時に19世紀の仏のオリジナル・ポスター、英、仏、米のランタン及び自転車関係の書籍文献資料として色々なコレクションを陳列しています。



#### 営業案内

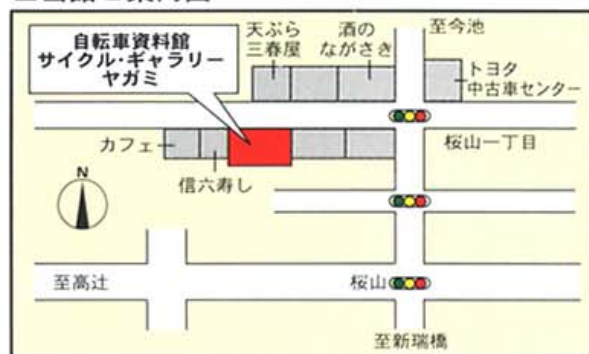
〈開館時間〉午前9時～午後5時

電話予約制 (052) 853-3281

〈休館日〉毎週日曜日 (休日の場合は翌日)

〈入館料〉無料

#### ■当館ご案内図



### 「愛知の博物館」No.74

発行日 平成13年8月10日

編集・発行 愛知県博物館協会  
〒467-0806

名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

名古屋市博物館内

TEL <052> 853-2655

FAX <052> 853-3636